

# 「 社会科 」 授業のデザイン

授業者：西本 仰

ぐ

- 1 日 時 平成30年10月31日（水）5校時
- 2 学 級 3年2組
- 3 題 材（単元） 模擬裁判をしよう
- 4 本時の授業

(1) 目標 模擬裁判を通して、判決の難しさを体験させるとともに、他人の意見から自分の考えを広げ、深めさせる。

(2) 授業の取り組み

- ・ 検察、弁護士、被告人、証人の主張をしっかりと聞いた上で、自分の良心に基づいて判断をさせる。
- ・ 意見交換をする中で、自らの考え方を広め、深め合って最終の判決を決めさせる。
- ・ 学級全体で判決を決めた理由を交流し合う。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;">模擬裁判を体験しよう</div> <p>②基礎の課題</p> <p>事件の概要を知り、検察、弁護士、被告人、証人の主張を聞いた上(審理)で、今回の事件が殺人、正当防衛、過剰防衛のいずれに該当するかを自らの良心に基づいて判断する。</p> <p>③ジャンプの課題</p> <p>2度目の審理を経た上で、班員どうしてお互いの判決に至った理由を話し合い、意見交換する(評議)。他人の意見から自分の考えを広め、深め合いながら、班としての評決(判決)を決める。</p> <p>④まとめ</p> <p>学級の各班から出てきた判決を、理由も説明しながら発表する。最終的に学級全員の裁判員による判決を出す。</p>	<p>・被告人に対する先入観を持たず、それぞれの立場の主張をしっかりと聞いて判断させる。</p> <p>・人の意見に左右されず、自分の考え方で判断するよう促す。</p> <p>・自分の考えだけでなく、他の人の意見も聞きながら、広い視野に立って最終的な判断をするよう促す。</p>